

会頭講演

震災から未来へ 伝統医学の生きる街づくり

From the disaster to the Future, Miyagi Health Care City, a city living with Traditional medicine

関 隆志

東北大学大学院医学系研究科先進漢方治療医学講座

【目的】 第2回日本中医学会学術総会の総合テーマ「伝統医学は医学のフロンティア」は伝統医学の智恵の中には現代の医学を前進させるためのヒントが沢山秘められていること。副題の「東アジア伝統医学の融合と発展の可能性」は中医学や日本の漢方などの東アジア伝統医学を融合することによって、よりよい医学を構築し発展する可能性を示唆します。

科学的裏付けをとりながら伝統医学を活用した事業を総合的に立案し、未曾有の震災後を生きるひとびとにに対して、住みやすい町を提供する具体的な方策を提案します。

【対象と方法】 提案するのは、医療・介護・福祉のみならず、街づくりに必要なあらゆる産業を連携させて、住民の健康を創成する世界で初めての産業連携健康創成都市構想「みやぎヘルスケアシティ」です。医療・介護・福祉の統合的なサービス提供、身体をみる西洋医学の健康診断に心理と伝統医学の健康診断を融合した総合健康診断、伝統医学及び補完代替医療を総合的に提供する事業、農畜水産業における1次産業から3次産業まで的一体的な事業化、小中高等学校などの公的教育における伝統医学教育、サービス付き高齢者住宅を核に伝統医学や補完代替医療サービスなどを組み込んだ総合健康住宅。こうした事業が、住空間と農畜産業が隣接している「農のある街（ガーデンシティ）」に展開します。これらの事業は単独で行うのではなく、協議会において、有機的に結びつけられる形で行われます。

同時に、町のよりよい発展のために科学的な検証を事業の展開に並行して行います。WHO、海外の研究機関とも連携し、疫学、経済学的な検証もおこない、その結果を町の事業展開にフィードバックしていきます。各国の伝統医学を有機的に組み合わせて提供し、伝統医学のエビデンスの構築を通して、医学・医療の進歩に貢献することができます。伝統医学統合の一つの理論的な支柱が中医学です。超高齢化社会を迎えているわが国と、海外の高齢化諸国に対して、モデルとなる都市を提案することを目標としています。

【結果】 東北大学の復興事業の一つの柱としてみやぎヘルスケアシティ構想を推進しています。被災自治体、経済界と協力して協議会設立に向けた準備を進めています。現在、協議会に参加を希望する企業、団体、個人を募集中です。

【考察】 大きな震災を契機に、伝統医学の重要性が再認識されました。伝統医学にとって、発展するための大きな機会です。